

第3回 諏訪市 ICT 教育推進協議会記録

課所名

教育総務課

会議名 第3回 諏訪市 ICT 教育推進協議会

開催日時 令和4年11月22日(火) 午後16時00分～17時00分

開催場所 諏訪市役所 201会議室

出席者 会長:五味 康剛、副会長:伊藤靖徳 (敬称略)
委員:三輪晋一、宮尾昭広、河西一樹、飯野敏行、伊藤正敏、茅野純子
(欠席者)3名 北川大貴、尾崎剛、神谷慎介
事務局:細野教育次長、小林教育総務課長、森教育企画係長、藤森主任、岩波指導主事

資料 ◇配布資料
No.1 諏訪市 ICT 推進協議会委員名簿
No.2 前回協議会以降の ICT 教育に係る動向について
No.3 令和4年度事業の進捗状況・今後の展開及び令和5年度事業の展望について

協議議題(内容)及び会議結果(要旨)

1 開会(教育総務課長)

2 教育長あいさつ

昨年度策定した ICT 教育推進計画の基本方針に基づき、今年度におけるこれまでの取り組みと進捗状況を報告し、今年度の展開についてお示しいたい。また令和5年度の展開について委員の皆様のご意見をいただきたい。

学校を訪問すると電子機器を活用している姿が見られている。今後よい学習活動になるよう協議をおねがいしたい。

3 協議

(1) 前回協議会以降の ICT 教育に関わる動向について

【事務局より説明】(資料 No2)

(2) 令和4年度事業の進捗状況と今後の方針について

【事務局より説明】(資料 No3)

(3) 令和5年度事業の展開について

【事務局より説明】(資料 No3)

(4) 質疑・意見交換

委員

ポータルサイト内で問い合わせ窓口を整備したと説明があったが、その内容は Q&A などの形で共有されるのか。

事務局

電話やメールなど、ポータルサイト内の問い合わせ窓口以外からの問い合わせも含めて全体で共有すべき内容はポータルサイト内の「よくある質問」に掲載している。

委員

プログラミング教育について、資料によると当初はテキストコーディングで行う予定だったが、検討の結果それは困難だとして Scratch を使うこととしたとのことだが、どのような検討がされたのか。

事務局

子供たちの能力やリテラシー的に Scratch などのビジュアルコーディングにも馴染みがない中でのテキストコーディングというのは難しいのではないかと考えた。今後プログラミング教育が進んでいき、タイピングなどの必要な能力を習得してくれば実現できるのではないかと考えている。

委員

本日も英語の ICT を活用した公開授業があったが、「ICT 機器を全面的に活用している」といった訳でなく、自然に英語の授業で導入された電子黒板が活用されているのが良いと感じた。先日も次年度の小中連携に向けた会議の中で、様々な取り組みの提案が出されたが、普通にやったのでは時間がかかってしまい実現が難しいと思うので、そういった場面で ICT を活用して効率的に進めていければ良いと思った。

先日行われた地域公開講座でマイクロビットを使った実習が行われた。教えるのに専門的な知識などが必要となるが、コミュニティスクールの方が来て教えていただいた。教職員の長時間労働が大きな課題となっている中で、地域の力を借りながらやっていくというのは重要だと思う。

委員

先ほどの地域の力を借りながらの取り組みは非常に良いと思う。また、学校が ICT 化していくことには期待感を感じる。

委員

プログラミング教育の実践について、学校と近隣の大学の学生と連携して進めてきた。学生からも様々な提案をいただいたり、担当教員も前向きに取り組んでいる。そういった連携は素晴らしいと感じる。

委員

ICT 担当教員が中心となり、ICT があまり得意でない教員も徐々に ICT を使った授業を行うようになっている。また、今年度大型提示装置が導入されたこともあり、少しずつだが確実に活用する意識が高まっており心強く感じている。

委員

事務局の説明を聞いて、諏訪市では研修に力を入れている印象を受けているが、子どもにとっての平等な学びの機会を考えたときに、先生のサポートというのは非常に重要だと思う。ポータルサイトの設置や ICT 支援員の配置など良い取り組みをされていると思う。また、IT 関連企業が集まった長野県情報サービス振興協会などの民間の資源も活用しながらサポートを続けていければ良いと思う。

4 次回以降協議会の開催予定について

教育総務課長

次回は3月13日(月)市役所で予定している。

5 その他

なし

6 閉会

教育次長

教育委員会の重要な役割として、大型提示装置の整備や ICT 支援員の配置などのサポートを引き続き推進していきたい。また、教育振興基本計画を策定しているが、ICT の活用や地域との連携は重要なキーワードであり、当会議での協議内容を計画策定に生かしていきたい。

(17:00 終了)